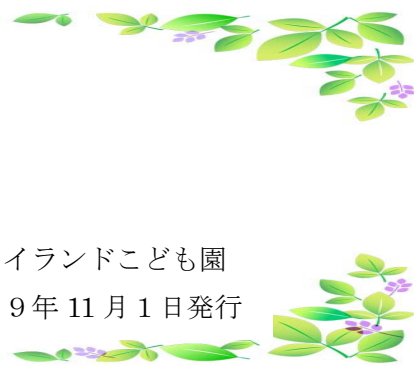




園だより 11月

「感謝のとき」

芝浦アイランドこども園
平成29年11月1日発行



朝・夕に1枚上着をきて遊び回る季節になりました。天気の良い日は戸外遊びをしているので子どもたちの脚力が大いに伸びたのではないのでしょうか。先月は、どのクラスもお土産のどんぐりを持ち帰り、遊びの中でごちそうになったりお金になったり、こまやりっぱな製作物など大事な宝物となりました。

散歩で持ち帰ったり園庭で拾い集めた木の落ち葉も遊びの素材になりました。砂場では、お皿やごちそうになったり、お買い物に使うお札としても使われました。ある時は大きな落ち葉に穴を2つあけ、お面にすると保育者が「おぼけだぞ〜」という声に、笑って逃げる子どもたちの姿がありました。



今年も保育者たちは、園庭の環境を整えることを考え、「子どもたちの発達に則した遊具をもっと充実させてために」という内容で話し合いを続けています。子どもたちの遊びがもっと楽しく発展していくために、またもっと遊びこめるように等、年間を通して話し合いが続いていきます。

昨年度は、テーブルとベンチを置きました。暖かな日差しを受け、友だちや保育者、異年齢のお友だちと一緒に、主体性を持って遊びを意欲的に展開できるよう、また新たな刺激を与えられるように、保育者も真剣に園庭の遊具の検討をしています。子どもたちが笑顔を輝やかせて遊んでいる姿が増えますように。

(園長 宇野 雪枝)

- 1日(水) 安全指導
- 2日(木) いもほり遠足(4・5歳児)
- 7日(火) 消火避難訓練
- 8日(水) 収穫感謝祭
- 9日(木) 体力向上プログラム(4歳児)
- 13日(月)～15日(水) ふれあいアート(5歳児)
- 16日(木) バイオリンコンサート
ほっとするコーヒーやさん
- 17日(金) 英語(5歳児)
- 21日(火) 誕生会
- 24日(金) 4歳児(英語)
- 28日(火) 体力向上プログラム(5歳児)
- 29日(水) 第2回 評議員会



*25日(土) 育児講座 柴田愛子(りんごの木代表)
「子どもの心をのぞいてみませんか？」

- 8・22日(水) 園庭開放
- 10日(金) マッチング<保育専門校学生との交流>
- 16日(木) こども園で遊ぼう(バイオリンコンサート)

個人面談

- 0歳児: 1日(水)～2日(木)
- 5歳児: 6日(月)～10日(金)
- 4歳児: 13日(月)～17日(金)
- 3歳児: 20日(月)～24日(金)

- 内科健診 1日(水) 0・1歳児
22日(水) 0.2歳児
- 歯科検診 30日(木) 0-5歳児
- 身体測定 6日(月) 4.5歳児
7日(火) 2.3歳児
9日(木) 0.1歳児

こども園の教育・保育

先月、三田署の交通課の署員が2人いらして、4歳児・5歳児の交通安全教室が開かれました。最初は、アニメのビデオを見て、安全な歩き方や標識、標示を学び、それから交通安全に関する約束や横断歩道の渡り方などお話を伺い、その後、横断歩道を渡ることを体験しました。



園においても毎月、安全指導を月初めに行っています。



- ・自分で自分の身を守る:
自分の耳と目で確かめる習慣を持つ、道路上の危険について知る、交通ルールを守り安全に歩行をする等
- ・道路の安全な歩き方: 標識・標示の意味、道の端を歩く、ふざけながら歩かない等
- ・横断歩道の渡り方:
左右を見て安全確認する、手を上げる、信号の点滅している時の判断の仕方等
- ・交通安全に関する約束: 飛出しをしない、道路では遊ばない等

- 0歳児: 戸外で遊ぶことを喜び、自然物に触れたり探索したりすることを楽しむ
保育者とのあたたかいふれあいの中で自分の気持ちを思いきり表現する
- 1歳児: 保育者に言葉で気持ちを伝え、受け止めてもらうことを喜ぶ
戸外で秋の自然を感じながら、元気に遊ぶ
- 2歳児: 秋の自然を感じながら戸外遊びや散歩を楽しむ
着替えや手洗いなど、自分でしようとする気持ちをみんなで喜び合う
- 3歳児: 秋の自然の変化に興味や関心を持ち、自然物に触れて遊ぶ
友だちと関わりながら、さまざまな遊びや自由に表現することを楽しむ
- 4歳児: 秋の実りを喜び、感謝の気持ちを持つ事を大事にする
思いやイメージをいろいろな方法で自分なりに表現する
- 5歳児: 季節の移り変わりや不思議などへの関心を深め、積極的に遊びに取り入れて楽しむ
健康に過ごせるよう、基本的な生活習慣を丁寧に行う
- 一時保育: 気温の変化を感じながら、のびのびと身体を動かして遊ぶ
保育者と一緒に衣服の着脱を試みようとする

AEDと心肺蘇生講習を受講

先月、園に芝消防署芝浦出張所隊員3名の指導の下、AEDの使用方法和心肺蘇生の講習を職員22名が受講しました。AEDは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器で、勿論、園にも備えてあります。

講習では、児童と乳児の人形2体を使い児童と乳児に対する講習を行いました。参加していた職員からは、圧迫する位置の確認や指の向きなど確認していました。1年に1回の講習を行っていますが、今回の講習内容では、呼吸確認方法など新たに改められていました。初めて参加する職員は、力の入れ具合や心肺蘇生の速さなど体験をし、多くの貴重な学びの場となりました。

